

○ 生物多様性を保全する上で重要な種（カテゴリー別）

哺乳類 9種

地域個体群（LP） 7種

1. サドモグラ
2. コキクガシラコウモリ
3. モモジロコウモリ
4. アブラコウモリ
5. ユビナガコウモリ
6. サドノウサギ
7. ハタネズミ

準絶滅危惧（NT） 1種

1. サドトガリネズミ

情報不足（DD） 1種

1. ゴマフアザラシ

鳥類 79種

絶滅危惧ⅠA類（CR） 8種

1. ウミスズメ
2. コウノトリ
3. シマアオジ
4. ヘラシギ
5. ハクガン
6. トキ
7. オオヨシゴイ
8. チゴモズ

絶滅危惧ⅠB類（EN） 11種

1. チュウヒ
2. ヒメウ
3. クロツラヘラサギ
4. ヤイロチョウ
5. アカモズ
6. ブッポウソウ
7. カリガネ
8. サンカノゴイ
9. コシャクシギ
10. ヒクイナ

11. コジュリン

絶滅危惧Ⅱ類（VU） 26種

1. タマシギ
2. ミゾゴイ
3. ハヤブサ
4. シロチドリ
5. トモエガモ
6. ヒシクイ
7. サシバ
8. サンショウクイ
9. ウズラ
10. オオソリハシシギ
11. セイタカシギ
12. タカブシギ
13. ツルシギ
14. オジロワシ
15. オオワシ
16. タンチョウ
17. ナベヅル
18. マナヅル
19. アカアシシギ
20. コアジサシ
21. コクガン
22. ツバメチドリ
23. ホウロクシギ
24. ズグロカモメ
25. コシアカツバメ
26. コヨシキリ

地域個体群（LP） 3種

1. クロサギ
2. サドカケス
3. ホシガラス

準絶滅危惧（NT） 31種

1. オオジシギ
2. ヨシゴイ

3. ヤマセミ
4. オオタカ
5. ハイタカ
6. ミサゴ
7. オシドリ
8. イソシギ
9. ウミウ
10. オオコノハズク
11. オオヒシクイ
12. マガン
13. マダラウミスズメ
14. ハチクマ
15. ヨタカ
16. アオバズク
17. アカショウビン
18. コサメビタキ
19. コルリ
20. ノジコ
21. ハマシギ
22. マキノセンニュウ
23. チュウサギ
24. コサギ
25. アオジ
26. クロジ
27. マミジロ
28. アカハラ
29. カラシラサギ
30. カラスバト
31. オオヨシキリ

両生類 2種

絶滅危惧ⅠB類 (EN) 1種

1. サドガエル

準絶滅危惧 (NT) 1種

1. アカハライモリ

爬虫類 2種

地域個体群 (LP) 1種

1. シロマダラ

情報不足 (DD) 1種

1. ニホンイシガメ

淡水魚類 20種

絶滅危惧ⅠA類 (CR) 1種

1. カワヤツメ

絶滅危惧ⅠB類 (EN) 2種

1. ジュウサンウグイ
2. クロヨシノボリ

絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 8種

1. カジカ大卵型
2. カンキョウカジカ
3. シロウオ
4. ビリンゴ
5. ウロハゼ
6. アベハゼ
7. ゴクラクハゼ
8. ヌマチチブ

準絶滅危惧 (NT) 5種

1. ニッコウイワナ
2. サクラマス (ヤマメ)
3. キタノメダカ
4. アユカケ (カマキリ)
5. チチブ

情報不足 (DD) 4種

1. ニホンウナギ
2. ニホンイトヨ
3. イドミミズハゼ
4. ジュズカケハゼ種群

淡水産・汽水産甲殻類 8種

絶滅危惧ⅠB類 (EN) 1種

1. アリアケモドキ

絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 1種

1. マメコブシガニ

準絶滅危惧 (NT) 3種

1. テッポウエビ

2. クロベンケイガニ

3. アカテガニ

情報不足 (DD) 3種

1. ミゾレヌマエビ

2. テナガエビ

3. スジエビ

陸・淡水産貝類 39種

絶滅危惧ⅠA類 (CR) 1種

1. サドマイマイ

絶滅危惧ⅠB類 (EN) 4種

1. サドムシオイ

2. ヤマタニシ

3. ナタネミズツボ

4. マシジミ

絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 6種

1. サドタカキビ

2. サドヤマトガイ

3. ナタネキバサナギガイ

4. ヒメギセル

5. ヤマトキバサナギガイ

6. ヤマボタルガイ

地域個体群 (LP) 3種

1. フトキセルモドキ

2. オオタニシ

3. カラスガイ

準絶滅危惧 (NT) 25種

1. イツマデガイ

2. オオウスイロヘソカドガイ

3. クリイロキセルモドキ

4. ケハダビロウドマイマイ

5. サドギセル

6. サドキビ

7. スナガイ

8. ナガオカモノアラガイ

9. ナガナタネガイ

10. ハコダテヤマキサゴ

11. ヒメハリマキビ

12. ミジンマイマイ

13. ヤマコウラナメクジ

14. アッケシマメシジミ

15. イシマキガイ

16. ウエジマメシジミ

17. ドブシジミ

18. ハイイロマメシジミ

19. ヒラマキガイモドキ

20. ヒラマキミズマイマイ

21. マツカサガイ

22. マルタニシ

23. ミズゴマツボ

24. モノアラガイ

25. ヨコハマシジラガイ

昆虫類 55種

絶滅 (EX) 1種

1. コクロナガオサムシ

絶滅危惧ⅠA類 (CR) 2種

1. シャープゲンゴロウモドキ

2. ウラギンスジヒョウモン

絶滅危惧ⅠB類 (EN) 1種

1. カワラハンミョウ

絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 6種

1. ホンサナエ

2. ハネビロエゾトンボ

3. カトリヤンマ

4. ズイムシハナカメムシ

5. ハラビロハンミョウ

6. ゲンゴロウ

準絶滅危惧 (NT) 25種

1. モートンイトトンボ

2. キトンボ

3. コノシメトンボ

4. マイコアカネ

5. ミヤマアカネ

6. リスアカネ

7. ウスバカマキリ
8. ハラビロカマキリ
9. オオミズスマシ
10. ミズスマシ
11. フトキバスナハラゴミムシ
12. キベリクロヒメゲンゴロウ
13. クロゲンゴロウ
14. ケシゲンゴロウ
15. コマルケシゲンゴロウ
16. シマゲンゴロウ
17. ホソツヤヒゲナガコバネカミキリ
18. オオルリハムシ
19. ホソバセセリ
20. オオムラサキ
21. コジャノメ
22. キハダカノコ
23. ヒメシロシタバ
24. ヤヒコカラスヨトウ
25. エゾアカヤマアリ

情報不足 (DD) 20 種

1. トラフトンボ
2. カヤキリ
3. アカエゾゼミ
4. タイコウチ
5. ゴミアシナガサシガメ
6. シロヘリツチカメムシ
7. オオサカアオゴミムシ
8. スナハラゴミムシ
9. セアカオサムシ
10. オオクワガタ
11. ヤマトエンマコガネ
12. ヒガシツヤヒサゴゴミムシダマシ
13. ヨツボシカミキリ
14. オナガミズアオ
15. シンジュサン
16. スキバホウジャク
17. キシタアツバ
18. ウマノオバチ
19. トゲアリ

20. クロマルハナバチ

クモ類 4 種

絶滅危惧 I A 類 (CR) 1 種

1. イソコモリグモ

絶滅危惧 I B 類 (EN) 1 種

1. ヘリジロコモリグモ

絶滅危惧 II 類 (VU) 1 種

1. ワスレナグモ

地域個体群 (LP) 1 種

1. アカイソウロウグモ

海産魚類 16 種

準絶滅危惧 (NT) 6 種

1. フタスジカジカ
2. ヒメスイ
3. タケノコメバル
4. トクビレ
5. マフグ
6. ムシフグ

情報不足 (DD) 10 種

1. イトマキエイ
2. ガンギエイ
3. コモンカスベ
4. ドブカスベ
5. カグラザメ
6. ノコギリザメ
7. カスザメ
8. ナヌカザメ
9. ホシザメ
10. ホテイウオ

海産無脊椎動物 59 種

絶滅危惧 I B 類 (EN) 2 種

1. ツバサゴカイ
2. フジナミガイ

絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 9種

1. マキガイイソギンチャク
2. スジウネリチョウジガイ
3. フロガイダマシ
4. ゴマフホラダマシ
(ナガゴマフホラダマシ)
5. アサヒキヌタレガイ
6. ウミタケ
7. ヒメケフサイソガニ
8. ウモレマメガニ
9. シロナマコ

地域個体群 (LP) 8種

1. スエヒロイボテガニ
2. トラノオガニ
3. アカイシガニ
4. キンセンガニ
5. マキエダコアシウミシダ
6. フトアシウミシダ
7. セイタカブンブク
8. サドナデシコナマコ

準絶滅危惧 (NT) 28種

1. ウミサボテン
2. オロチヒモムシ
3. シダレイトゴカイ
4. ニッポンフサゴカイ
5. サナダユムシ
6. スジホシムシモドキ
7. ミヤコドリ
8. ウミニナ
9. ヌノメチョウジガイ
10. シラギク
11. ネコガイ
12. ムシロガイ
13. マクラガイ
14. チャイロフタナシシャジク
15. タイラギ (リシケタイラギ)
16. ハボウキガイ
17. サギガイ
18. サクラガイ

19. ウズザクラ
20. フジノハナガイ
21. キヌタアゲマキ
22. ケマンガイ
23. ウロコガイ
24. スジホシムシモドキヤドリガイ
25. オオノガイ
26. ツノガニ
27. トリウミアカイソモドキ
28. ウチワイカリナマコ

情報不足 (DD) 12種

1. キクメイシモドキ
2. シオガマサンゴ
3. セイタカハナヅトガイ
4. オオマルフミガイ
5. ウミシダヤドリエビ
6. スナガニ
7. エゾヒトデ
8. オオシマヒメヒトデ
9. ササキクモヒトデ
10. アラサキガンガゼ
11. ニッポンコシダカウニ
12. スカシカシパン

海藻類	10種
------------	------------

情報不足 (DD) 10種

1. クロメ
2. アオワカメ
3. スギモク
4. ヒジキ
5. フシイトモク
6. ウスイロモク
7. ウスバノコギリモク
8. エチゴネジモク
9. アサクサノリ
10. ヒメダジア

維管束植物 238 種

絶滅 (EX) 3 種

1. オオアカネ
2. イヌノフグリ
3. ヒヨクソウ

絶滅危惧 I B 類 (EN) 19 種

1. イトトリゲモ
2. ウチョウラン
3. エビネ
4. カモメラン
5. クマガイソウ
6. サルメンエビネ
7. トケンラン
8. ベニシュスラン
9. キチジョウソウ
10. ヤマトミクリ
11. オオアカバナ
12. ハイハマボツス
13. キジョラン
14. ウリクサ
15. キキョウ
16. オミナエシ
17. シナミズニラ
18. ツルデンダ
19. サジラン

絶滅危惧 II 類 (VU) 101 種

1. ジュンサイ
2. コウホネ
3. ハンゲシヨウ
4. アオウキクサ
5. コウキクサ
6. ヤナギスブタ
7. イトモ
8. コバノヒルムシロ
9. フトヒルムシロ
10. ミズヒキモ
11. ネバリノギラン
12. サドシオデ
13. タケシマラン

14. アオフタバラン
15. ササバギンラン
16. ナツエビネ
17. ノビネチドリ
18. ノヤマトンボ
19. ミズトンボ
20. ヤマトキソウ
21. ミズアオイ
22. ヒメガマ
23. ミクリ
24. ニッポンイヌノヒゲ
25. ヒロハノイヌノヒゲ
26. イヌイ
27. ウキヤガラ
28. ウシクグ
29. キンガヤツリ
30. グレーンスゲ
31. フトイ
32. ホシナシゴウソ
33. アイアシ
34. アオネザサ
35. アラゲメヒシバ
36. オオイチゴツナギ
37. ネズミガヤ
38. ユキクラヌカボ
39. ツヅラフジ
40. オオヤマオダマキ
41. オクトリカブト
42. ヒメウズ
43. イワベンケイ
44. チチツパベンケイ
45. センダイハギ
46. ツルメドハギ
47. ヤブツルアズキ
48. アズキナシ
49. イワシモツケ
50. オオダイコンソウ
51. コキンバイ
52. ヤマナシ
53. エゾイラクサ

54. オオタチヤナギ
55. シロヤナギ
56. タチヤナギ
57. ヒカゲスミレ
58. イワオトギリ
59. トモエソウ
60. ミズユキノシタ
61. ゴンズイ
62. イヌナズナ
63. ノダイオウ
64. モウセンゴケ
65. ハマハコベ
66. オカヒジキ
67. ツルナ
68. ヌマトラノオ
69. ヒロハクサレダマ
70. ウラジロハナヒリノキ
71. オオバスノキ
72. オオキヌタソウ
73. イヌセンブリ
74. エゾリンドウ
75. フデリンドウ
76. スズサイコ
77. ハマベンケイソウ
78. キクモ
79. ツルカコソウ
80. ヒメナミキ
81. メハジキ
82. イヌタヌキモ
83. アカミノイヌツゲ
84. エゾノコギリソウ
85. オナモミ
86. カセンソウ
87. サドアザミ
88. ネコノシタ
89. ハマヨモギ
90. ナベナ
91. オオカサモチ
92. ネズコ (クロベ)
93. アスヒカズラ

94. イワヒバ
95. ヒロハハナヤスリ
96. ウラジロ
97. チャセンシダ
98. オニカナワラビ
99. イッポンワラビ
100. イワオモダカ
101. ヒメサジラン

地域個体群 (LP) 28種

1. キタコブシ
2. キツネノカミソリ
3. ケツユクサ
4. タイワンヤマイ
5. ヤマテキリスゲ
6. コメススキ
7. ミヤマヌカボ
8. ヤマヌカボ
9. オトメエンゴサク
10. クサイチゴ
11. ビワ
12. ヒメコウゾ
13. アカガシ
14. カワヤナギ
15. ヒカゲミゾソバ
16. ミヤマタニソバ
17. ミドリハコベ
18. キクムグラ
19. ヤマトグサ
20. キバナアキギリ
21. キランソウ
22. ヤマハハコ
23. タカネマツムシソウ
24. トベラ
25. ソウシシヨウニンジン
26. ツボクサ
27. ミヤマシシガシラ
28. ホソバシケシダ

1. シキミ
2. ザゼンソウ
3. ミズバショウ
4. ミズオオバコ
5. アオヤギソウ
6. キバナノアマナ
7. ツバメオモト
8. ツチアケビ
9. ギョウジャニンニク
10. ヒメニラ
11. ドロイ
12. アゼテンツキ
13. イヌホタルイ
14. コウボウムギ
15. コゴメガヤツリ
16. シオクグ
17. テンツキ
18. アオカモジグサ
19. イチゴツナギ
20. ケカモノハシ
21. ムベ
22. サンカヨウ
23. ミスミソウ
24. ヤマオダマキ
25. ルイヨウショウマ
26. ジャケツイバラ
27. エチゴツルキジムシロ
28. ゴヨウイチゴ
29. タカネザクラ
30. フユイチゴ
31. オオバグミ
32. サワシバ
33. テリハタチツボスミレ
34. ヒメアカバナ
35. カラコギカエデ
36. ヤマガラシ
37. ユリワサビ
38. オオバナミミナグサ
39. ハマナデシコ
40. フシグロ
41. ホソバハマアカザ
42. マルミノヤマゴボウ
43. ギンリョウソウ
44. エゾノヨツバムグラ
45. オオハシカグサ
46. オオバノヤエムグラ
47. キバナカワラマツバ
48. フタバムグラ
49. テングノコヅチ
50. ホタルカズラ
51. ハダカホオズキ
52. ヤマホロシ
53. ハシドイ
54. マルバノサワトウガラシ
55. イブキジャコウソウ
56. コシロネ
57. タツナミソウ
58. シオガマギク
59. タチコゴメグサ
60. シラゲシャジン
61. カントウタンポポ
62. シュウブンソウ
63. ハマニガナ
64. ヒメヨモギ
65. シャク
66. ミヤマセンキュウ
67. ハイネズ
68. コスギラン
69. ヒモカズラ
70. ナツノハナワラビ
71. オオキジノオ
72. ケブカフモトシダ
73. オオバノハチジョウシダ
74. イノデモドキ
75. オオイタチシダ
76. ナンゴクナライシダ
77. ヒロハヤブソテツ
78. オオバショリマ
79. ミヤマワラビ

- 80. オオサトメシダ
- 81. ビロードシダ
- 82. ホテイシダ
- 83. マメヅタ
- 84. ミツデウラボシ

情報不足 (DD) 3種

- 1. ナガエミクリ
- 2. コシノホンモンジスゲ
- 3. コウモリソウ

コケ植物	8種
-------------	-----------

準絶滅危惧 (NT) 1種

- 1. イチヨウウキゴケ

情報不足 (DD) 7種

- 1. ヌマシノブゴケ
- 2. ササオカゴケ
- 3. ヤマタチヒダゴケ
- 4. イブキタチヒダゴケ
- 5. クマノゴケ
- 6. オオミズゴケ
- 7. カサゴケモドキ

○ 参考文献

【哺乳類】

環境省編 (2014) Red Data Book 2014, 日本の絶滅のおそれのある野生生物 1.哺乳類, ぎょうせい.
Odachi, S.D., Ishibashi, Y., Iwasa, M.A., Fukui, D. & Sairoh, T. eds. (2015) , The wild mammals of Japan (2nd edition) , Shoukadoh, Kyoto.

【鳥類】

環境省編 (2014) Red Data Book 2014, 日本の絶滅のおそれのある野生生物 2.鳥類, ぎょうせい.
日本野鳥の会佐渡支部 (2015) トキの島の野鳥. 佐渡島鳥類目録.

【両生類・爬虫類】

大野正男 (1968) 日本海沿岸島嶼の両棲・爬虫相. 東洋大学教養課程篇 9: 99-105.
関谷國男 (2008) 第4節動物の分布とその特殊性 (分担執筆) 48-67. In: 新潟大学佐渡市環境教育ワーキンググループ (編). 佐渡島環境大全 238pp.
本間義治 (1957) 佐渡臨海実験所周辺の脊椎動物. 採集と飼育 19: 354-356.
Sekiya, K., Miura I. & Ogata M. (2012) A new frog species of the genus *Rugosa* from Sado Island, Japan (Anura, Ranidae) *Zootaxa* 3575: 49-62. (*新種記載時この種の属名は *Rugosa* であったが、現在は *Glandirana* に変更となる)

【淡水魚類】

伊藤正一 (1981) 生物 I 加茂湖 (佐渡島) の生物相—夏期安定成層後期の頃—. 新潟県文化財調査年報第 20 佐渡加茂湖-1981-: 2-29.
伊藤正一, 岡夙男, 松木保, 井上信夫, 本間義治 (1981) 国府川 (佐渡島) 下流域の生物相. 佐渡博物館研究報告(8): 103-111.
伊藤正一, 本間義治, 北見健彦 (1982) 加茂湖 (佐渡島) の動物相続報 I. 日本生物地理学会会報, (37) 6: 37-43.
井上信夫, 松本史郎, 本間義治 (1978) 新潟地方のヨシノボリ-I: 佐渡島における 4 型の分布. 動物分類学会誌 (15): 60-68.
後藤晃 (1981) カンキョウカジカ *Cottus hangiongensis* の生活史と分布. 北海道大学水産学部研究彙報 32 (1) : 10-21.
鹿野雄一 (写真・文・デザイン), 中島淳, 山下奉海, 島谷幸宏 (監修) (2009) 環境教育読本「水辺の生き物 in 佐渡ヶ島」.
玉田一晃 (2005) 小河川に生息する両側回遊性クロヨシノボリの卵数および卵サイズ. 魚類学雑誌. 52 (1) : 17-20.
中坊徹次 (2013) 日本産魚類検索 全種の同定. 東海大学出版会.
新潟大学理学部付属佐渡臨海実験所 (1997) 標本リスト. 新潟大学理学部付属佐渡臨海実験所特別報告第 7 集: 76.
長谷川拓也, 小路淳 (2017) 広島県三津大川におけるシロウオの遡上および産卵場の環境特性. 日本水産学会誌 83 (4) : 574-579.

- 樋口正仁, 高田啓介, 伊藤正一, 井上信夫 (2012) 佐渡産カンキョウカジカの分布と mtDNA の塩基配列分析から見た遺伝的特徴. 平成 24 年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 150.
- 本間義治 (1957) 佐渡島及びその周辺水域の動物相について—研究小史とその概観—. 佐渡博物学会誌, (1)2: 81-93.
- 本間義治, 井上信夫, 松本史郎 (1981) 佐渡島の淡水魚類相. 動物と自然, 11.
- 本間義治, 北見健彦, 伊藤正一 (1974) 加茂湖 (佐渡島) の動物相—予報. 動物分類学会誌, (10). 63-73.
- 本間義治, 田村栄光 (1972) 新潟および佐渡島周辺水域のハゼ類. 新潟県生物教育研究会誌, (8): 33-38.
- 松本史郎, 小林 修, 本間 義治 (1995) 背鰭棘によるチチブとヌマチチブの区別および両種の新潟県内における分布. 日本生物地理学会会報, 50: 5-13.
- Yoshiharu Honma (1991) A List of Fishes found in the Vicinity of Sado Marine Biological Station - VII. Report of the Sado Marine Biological Station Niigata University: 11-35.

【淡水産・汽水産甲殻類】

- 石川竜子 (2009) 新潟県沿岸におけるアマモ場の分布および種組成について, 新潟県水産海洋研究所報告 2: 57-61.
- 伊藤正一ら (1981) 国府川 (佐渡島) 下流域の生物相, 佐渡博物館研究報告第 8 集: 103-111.
- 北見健彦, 本間義治 (1981) 佐渡島 (日本海) におけるアカテガニの習性, 甲殻類の研究 11: 113-123.
- 日本ベントス学会 (2012) 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック, 東海大学出版会.
- 野村恵一 (2003) 日本に産するハゼ類と共生するテッポウエビ類の分類学的検討, 日本生物地理学会会報 58: 49-70.
- 豊田幸詞, 関慎太郎, 駒井智幸 (2019) 日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑, 緑書房.
- 渡部哲也 (2014) 海辺のエビ・ヤドカリ・カニハンドブック, 文一総合出版.
- 山田和雄 (2005) 「魚の森づくり」調査, 新潟県水産海洋研究所年報 (平成 13 年度): 127-129.

【陸産・淡水産貝類】

- 環境省 (2020) 環境省レッドリスト 2020 の公表について. 別添資料 3.環境省レッドリスト 2020 [PDF 661 KB].<https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf>
- 環境省自然環境局生物多様性センター (2010) 日本の動物分布図集 (陸産及び淡水産貝類 1~3) .<https://www.biodic.go.jp/kiso/atlas/>
- 菊池勘左エ門 (1965) 佐渡の陸産貝類 (其の一). 佐渡博物館報, 13 : 6-11.
- 菊池勘左エ門 (1966) 佐渡の陸産貝類 (其の二). 佐渡博物館報, 14-15 : 1-9.
- 菊池勘左エ門 (1967) 佐渡の陸産貝類 (其の三). 佐渡博物館報, 16 : 1-3.
- 村山均 (2001) レッドデータブックにいがた —新潟県の保護上重要な野生生物— (陸・淡水産貝類 淡水産プラナリア). 101-129.新潟県環境生活部 環境企画課.
- Honma, Y & Kitami, T (1978) Fauna and flora in waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University. Ann.Rep.Sao Mar.Biol.Stat. (8) : 7-81.

Honma, Y & Kitami, T (1979) Fauna and flora in waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University Supplement 1. Ann. Rep. Sao Mar. Biol. Stat. (9) : 27-36.

Honma, Y & Kitami, T (1995) Fauna and flora in waters adjacent to the Sado Marine Biological Station, Niigata University Supplement 2. Ann. Rep. Sao Mar. Biol. Stat. (25) : 13-30.

【昆虫類】

市川憲平 (2010) 田んぼの生きものたち ゲンゴロウ. 農文協発行.

上野俊一, 黒澤良彦, 佐藤正孝編 (1999) 原色日本甲虫図鑑 (II). 保育社.

尾園暁, 川島逸郎, 二橋亮 (2012) 日本のトンボ. 文一総合出版.

荻部治紀編 (2011) 水生昆虫大百科 2011 年度特別展「およげ! ゲンゴロウくん〜水辺に生きる虫たち〜」展示解説書. 神奈川県立生命の星・地球博物館.

荻部治紀, 寺山隼人, 加賀玲子, 佐藤武宏, 坂部貢 (2020) 岐阜県東濃地方の絶滅危惧種マダラナニワトンボ生息地におけるネオニコチノイド系農薬汚染の実態. TOMBO. 62: 26-37.

荻部治紀ほか (2012) 特集・消えたアカトンボ. 昆虫と自然 47 (8) : 2-15.

佐藤綾 (2008) 海辺のハンミョウ (コウチュウ目: ハンミョウ科) の現状と保全. 保全生態学研究. 13: 103-110.

柴田直之 (2015) 渡市立佐渡博物館蝶類収蔵標本目録. 越佐昆虫同好会報. 113: 103-115.

柴田直之 (2021) 渡島の蝶の文献目録および各種ごとの文献情報. 越佐昆虫同好会報. 123: 21-33.

白水隆 (2006) 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社.

千葉県環境生活部自然保護課 (2015) 千葉県シャープゲンゴロウモドキ回復計画 公表版・改訂版.

西原昇吾, 荻部治紀, 鷲谷いづみ (2006) 水田に生息するゲンゴロウ類の現状と保全. 保全生態学研究. 11: 143-157.

三田村敏正, 平澤桂, 吉井重幸 (2017) ゲンゴロウ・ガムシ・ミズスマシハンドブック. 文一総合出版.

桃下大, 林由美 (2009) ハラビロハンミョウの生活史. 長崎県生物学会誌. 66: 1-11.

森正人, 北山昭 (2007) 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 文一総合出版.

Löbl I., Löbl D (2017) Catalogue of Palaearctic Coleoptera Vol.1 (Revised and Updated Edition) : Archostemata-Myxophata-Adephaga. 1,443pp.

【海産動植物】

<海産魚類>

岡村収, 尼岡邦夫 編・監修 (2000) 日本の海水魚 第2版. 山と溪谷社.

安房田智司 (2017) 佐渡島沿岸のカジカ科魚類: 分類と生態について. 調査研究報告書 佐渡の自然史 5: 9-20.

<海産無脊椎動物>

石川県 編 (2020) いしかわレッドデータブック 2020.

石川智士, 吉川 尚 編 (2016) 幡豆の海と人びと. 東海大学海洋学部, 総合地球環境学研究所.

石川竜子 (2009) 新潟県沿岸におけるアマモ場の分布および種組成について. 新潟県水産海洋研究所 研究報告 2: 57-61.

- 伊藤勝千代 (1989) 新潟県中・下越及び佐渡島沿岸の貝類分布. 日本海区水産研究所研究報告 39: 37-133.
- 伊藤正一, 本間義治 (2001) 新潟県の沿岸・沖合に産するカニ類. *CANCER* 10: 25-34.
- 奥谷喬司 編著 (2017) 日本近海産貝類図鑑 第二版. 東海大学出版会.
- 海洋研究開発機構 Biological Information System for Marine Life (BISMaL).
<http://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/index.html>
- 環境省 編 (2017) 海洋生物レッドリスト.
- 環境省 編 (2020) 環境省レッドリスト 2020.
- 幸塚久典, 大森紹仁, 安房田智司, 下谷豊和, 野崎眞澄 (2015) 新潟県佐渡島の浅海産ウミシダ類 (棘皮動物門: ウミユリ綱). ホシザキグリーン財団研究報告 18: 75-89.
- 幸塚久典, 本間光男, 安房田智司 (2015) 新潟県初記録のエゾヒトデ (棘皮動物門, ヒトデ綱). ホシザキグリーン財団研究報告 20: 51-55.
- 幸塚久典, 安房田智司 (2018) 新潟県初記録のササキクモヒトデ (棘皮動物門, クモヒトデ綱). ホシザキグリーン財団研究報告 21: 269-272.
- Solis-Marin AF, Komatsu M, Soliman T, Uchida K, Shimotani T, Nozaki M (2014) *Scoliorhapis dianthus*, a new species of sea cucumber (Apodida: Chiridotidae) from the Sea of Japan. *Proc Biol Soc Washingt* 127: 323-327.
- 田中颯, 大作晃一, 幸塚久典 (2019) ウニ ハンドブック. 文一総合出版.
- 日本ベントス学会 編 (2012) 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸のベントスレッドデータブック. 東海大学出版会.
- 林健一, 本間義治 (2004) 琴浦ノ澗 (佐渡島小木半島) で発見されたアカシマコブウミシダに共生していたウミシダヤドリエビ. *CANCER* 13: 5-8.
- 邊見由美, 塩崎祐斗, 山守瑠奈, 伊谷行 (2019) 日本固有種ウモレマメガニの分布と生息場所, および山口県と高知県からの新記録. 日本ベントス学会誌 74: 35-40.

【維管束植物】

- 浅野貞夫 (2005) 原色図鑑 芽ばえとたね. 全国農村教育協会.
- 太田和夫, 勝山輝男 監修 (2017) 樹に咲く花 離弁花 2. 山と溪谷社.
- 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 編 (2015) 改訂新版 日本の野生植物 1. 平凡社.
- 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 編 (2016) 改訂新版 日本の野生植物 2. 平凡社.
- 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 編 (2016) 改訂新版 日本の野生植物 3. 平凡社.
- 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 編 (2017) 改訂新版 日本の野生植物 4. 平凡社.
- 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 編 (2017) 改訂新版 日本の野生植物 5. 平凡社.
- 門田裕一 監修, 畔上能力 編 (2013) 山に咲く花 増補改訂新版. 山と溪谷社.
- 神奈川県植物誌調査会 編 (2001) 神奈川県植物誌 2001. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 神奈川県植物誌調査会 編 (2018) 神奈川県植物誌 2018. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 角野康郎 (2014) ネイチャーガイド 日本の水草. 文一総合出版.
- 桑原義晴 (2008) 日本イネ科植物. 図譜全国農村教育協会.
- 澤田佳宏 (2014) 海浜植物のレッドリスト記載状況と保全上の課題. *景観生態学* 19: 25-34
- 城川四郎, 高橋秀男 監修 (2017) 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社.

高橋勝雄 (2003) 野草の名前夏一和名の由来と見分け方. 山と溪谷社.

高橋勝雄 (2013) 野草の名前秋・冬一和名の由来と見分け方. 山と溪谷社.

高橋秀男, 勝山輝男=監修 (2017) 樹に咲く花 離弁花 1. 山と溪谷社.

新潟県 (2001) レッドデータブックにいがた.

林弥栄, 門田裕一 監修 (2013) 野に咲く花 増補改訂新版. 山と溪谷社.

矢原徹一, 藤井伸二, 伊藤元己, 海老原淳 監修 (2015) 絶滅危惧植物図鑑 レッドデータプランツ 増補改訂新版. 山と溪谷社.

○ 謝辞

ご協力いただいた下記の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

【鳥類】

鳥類レッドリストを選定するにあたり、日本野鳥の会佐渡支部の土屋正起氏、近藤健一郎氏、近藤敬一氏には最新の分布情報とコメントをいただきました。

【淡水産・汽水産甲殻類】

現地調査では、村上伊佐弥氏（フィールド環境(株)）、寺島佑樹氏（京都大学）、新田真之氏（金沢大学）、池田雄彦氏（佐渡学センター）にご協力いただきました。テッポウエビ類は駒井智幸氏（千葉県立中央博物館）、イソコブムシ類は布村昇氏（富山市科学博物館）、ヨコエビ類は森野浩氏（茨城大学）に同定していただきました。寺島佑樹氏と多留聖典氏（東邦大学）には文献の紹介および専門的助言をいただきました。井上信夫氏（生物多様性保全ネットワーク新潟）には、アリアケモドキの標本を提供いただきました。

【淡水魚】

佐渡在住で新潟河川生態研究グループの伊藤正一氏には、島内の淡水生物相について多くの情報をいただき、現地調査にも同行いただきました。また、新潟大学佐渡臨海実験所職員であった故北見健彦氏には、イドミミズハゼの採集場所、生息状況についてご教示いただきました。本レッドリストをまとめるに当たり、「動植物生息実態調査」を行った平成24～26年度以前に、生物多様性保全ネットワーク新潟の有志とともに実施した島内各地の調査データも活用させていただきました。佐渡市在住の佐藤富士美さんには、アオサギに捕食されるカワヤツメの画像を提供頂き、佐渡島内での生存確認の契機となりました。

【昆虫類】

動植物調査では、山浦和雄氏（グリーンシグマ株）と同所属スタッフの皆様に協力いただきました。荒谷邦雄氏（九州大学）、苅部治紀氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）、岸本年郎氏（ふじのくに地球環境史ミュージアム）、山迫淳介氏（農研機構）には、数種に関して分類の情報や、分布情報、全国的な生息状況についてご教示いただきました。金子岳夫氏（愛知県豊橋市）、小林頼太氏（東京工科専門学校）、柴田直之氏（自然環境研究センター）、中原功志氏（新潟県佐渡市）、西川潮氏（金沢大学）にはレッドリスト掲載種数種の佐渡の生息状況に関して、池田一男氏（佐渡市農業政策課）には農法の状況について、阿部晴恵氏（新潟大学）、本間航介氏（新潟大学）にはレッドリスト掲載種数種の寄主植物の分布状況について、それぞれ貴重な御助言を賜りました。また、大脇淳氏（山梨県富士山科学研究所）には動植物調査についてご教示頂きました。

【クモ類】

動植物調査と種同定では、全面的に谷川明男氏（東京大学）にご協力いただきました。またヘリジロコモリグモの採集記録の一部については、西川潮氏（金沢大学）からご教示いただきました。

【海水魚】

安房田智司博士（大阪市立大学）には、フタスジカジカ、ムシフグを始めとする佐渡島における海産魚の生息状況や生態について、情報をご提供いただきました。本間結希、本間結、本間美紀、岡辺卓也（佐渡市在住）の各氏からご助言および情報提供をいただきました。

【海産無脊椎動物】

本リストの作成に当たっては、野崎真澄（元新潟大学）、安房田智司（大阪市立大学）、豊田賢治（新潟大学）、幸塚久典（東京大学）、小木曾正造（金沢大学）、本間光男（ダイビングサービス F.WAVE）、本間結希、本間結、本間美紀、岡辺卓也（佐渡市在住）の各氏からご助言および情報提供をいただきました。

【維管束植物】

本書の作成に当たっては、朱雁氏（新津植物資料室）から新津植物資料室で保管されている故石澤進氏によって撮影された植物写真をご提供いただきました。

○ 執筆者

【哺乳類】	永田 尚志
【鳥類】	永田 尚志、中津 弘
【両生類・爬虫類】	小林 頼太、関谷國男
【淡水魚類】	井上 信夫、満尾 世志人
【淡水産・汽水産甲殻類】	西川 潮
【陸産・淡水産貝類】	佐藤 修
【昆虫類】	岸本 圭子、柴田 直之
【クモ類】	宮下 直
【海産動植物】	飯田 碧、上井 進也、大森 紹仁
【維管束植物】	阿部 晴恵、中川 清太郎、中田 誠、本間 航介
【コケ植物】	本間 航介

(50 音順)

○ 写真提供者

本書の作成に当たり、下記の皆様から貴重な写真を提供いただきました。厚くお礼申し上げます。

【哺乳類】	佐渡自然共生科学センター、永田 尚志
【鳥類】	近藤 健一郎、土屋 正起、永田 尚志、中津 弘
【両生類・爬虫類】	小林 頼太、関谷國男
【淡水魚類】	井上 信夫、佐藤 富士美
【淡水産・汽水産甲殻類】	多留 聖典、西川 潮
【陸産・淡水産貝類】	佐藤 修
【昆虫類】	井上 信夫、大脇 淳、岸本 圭子、両津郷土博物館、渡部 晃平
【クモ類】	谷川 明男
【海産動植物】	安房田 智司、大森 紹仁、島袋 寛盛
【維管束植物】	阿部 晴恵、石澤 進、中川 清太郎、永瀬 淳、中田 誠
【コケ植物】	中川 清太郎

(50 音順)

○ 掲載種一覧

【哺乳類】

- (1-1) サドモグラ *Mogera tokudae* 〈L P〉
- (1-2) サドノウサギ *Lepus brachyurus lyoni* 〈L P〉

【鳥類】

- (2-1) トキ *Nipponia nippon* 〈C R〉
- (2-2) ハクガン *Anser caerulescens* 〈C R〉
- (2-3) カリガネ *Anser erythropus* 〈E N〉
- (2-4) ヒシクイ *Anser fabalis serrirostris* 〈V U〉
- (2-5) オオヒシクイ *Anser fabalis middendorffii* 〈N T〉
- (2-6) マガン *Anser albifrons Scopoli* 〈N T〉
- (2-7) シロチドリ *Charadrius alexandrines* 〈V U〉
- (2-8) コシャクシギ *Numenius minutus* 〈E N〉
- (2-9) セイタカシギ *Himantopus himantopus* 〈V U〉
- (2-10) オオソリハシシギ *Limosa lapponica* 〈V U〉
- (2-11) タカブシギ *Tringa glareola* 〈V U〉
- (2-12) ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus* 〈C R〉
- (2-13) ハヤブサ *Falco peregrinus japonensis* 〈V U〉
- (2-14) コジュリン *Emberiza yessoensis yessoensis* 〈E N〉
- (2-15) サドカケス *Garrulus glandarius tokugawae* 〈L P〉
- (2-16) コルリ *Luscinia cyane* 〈N T〉

【両生類・爬虫類】

<両生類>

- (3-1) サドガエル *Glandirana susurra* 〈E N〉
- (3-2) アカハライモリ *Cynops pyrrhogaster* 〈N T〉

<爬虫類>

- (3-3) シロマダラ *Lycodon orientalis* 〈L P〉

【淡水魚類】

- (4-1) カワヤツメ *Lethenteron japonicum* 〈C R〉
- (4-2) クロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus* 〈E N〉
- (4-3) カジカ大卵型 *Cottus pollux* 〈V U〉
- (4-4) カンキョウカジカ *Cottus hangiongensis* 〈V U〉
- (4-5) シロウオ *Leucopsarion petersii* 〈V U〉
- (4-6) ウロハゼ *Glossogobius olivaceus* 〈V U〉
- (4-7) スマチチブ *Tridentiger brevispinis* 〈V U〉
- (4-8) チチブ *Tridentiger obscurus* 〈N T〉
- (4-9) ニホンイトヨ *Gasterosteus nipponicus* 〈D D〉
- (4-10) イドミズハゼ *Luciogobius pallidus* 〈D D〉

【淡水産・汽水産甲殻類】

- (5-1) アリアケモドキ *Deiratonotus cristatus* 〈E N〉
- (5-2) マメコブシガニ *Pyrhila pisum* 〈V U〉
- (5-3) テッポウエビ *Alpheus brevicristatus* 〈N T〉
- (5-4) クロベンケイガニ *Chiromantes dehaani* 〈N T〉
- (5-5) アカテガニ *Chiromantes haematocheir* 〈N T〉

【陸産・淡水産貝類】

<陸産貝類>

- (6-1) サドマイマイ *Euhadra sadosensis* 〈C R〉
- (6-2) サドムシオイ *Chamalycaeus sadoensis* 〈E N〉
- (6-3) サドギセル *Paganizaptyx stimpsoni sadoensis* 〈N T〉

<淡水産貝類>

- (6-4) ナタネミズツボ *Oncomelania minima* 〈E N〉
- (6-5) マシジミ *Corbicula leana* 〈E N〉

【昆虫類】

- (7-1) シャープゲンゴロウモドキ *Dytiscus sharpi* 〈C R〉
- (7-2) ウラギンスジヒョウモン *Argyronome laodice japonica* 〈C R〉
- (7-3) カワラハンミョウ *Chaetodera laetescrpta* 〈E N〉
- (7-4) ハラビロハンミョウ *Lophyridia sumatrensis niponensis* 〈V U〉
- (7-5) ゲンゴロウ *Cybister japonicus* 〈V U〉
- (7-6) エゾアカヤマアリ *Formica yessensis* 〈N T〉
- (7-7) ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum* 〈N T〉
- (7-8) ミズスマシ *Cyrinus japonicus* 〈N T〉
- (7-9) オオミズスマシ *Dineutus orientalis* 〈N T〉

【クモ類】

- (8-1) イソコモリグモ *Lycosa ishikariana* 〈C R〉
- (8-2) ヘリジロコモリグモ *Pardosa albomarginata* 〈E N〉
- (8-3) ワスレナグモ *Calommata signata* 〈V U〉

【海産動植物】

<海産魚類>

- (9-1) フタスジカジカ *Icelinus japonicus* 〈N T〉
- (9-2) ムシフグ *Takifugu exascurus* 〈N T〉

<海産無脊椎動物>

- (9-3) ツバサゴカイ *Chaetopterus cautus* 〈E N〉
- (9-4) スジホシムシモドキ *Siphonosoma cumanense* 〈N T〉
- (9-5) スジホシムシモドキヤドリガイ *Nipponomysella subtruncata* 〈N T〉
- (9-6) サクラガイ *Nitidotellina hokkaidoensis* 〈N T〉
- (9-7) ウモレマメガニ *Pseudopinnixa carinata* 〈V U〉
- (9-8) サドナデシコナマコ *Scoliorhapis dianthus* 〈L P〉
- (9-9) シロナマコ *Paracaudina chilensis* 〈L P〉

<海藻>

(9-10) クロメ *Ecklonia cava* ssp. *stolonifera* var. *kuromeoides* 〈DD〉

(9-11) スギモク *Coccophora langsfordii* 〈DD〉

【維管束植物】

(10-1) イヌノフグリ *Veronica polita* var. *lilacina* 〈EX〉

(10-2) ネジリカワツルモ *Ruppia megacarpa* 〈EW〉

(10-3) イトトリゲモ *Najas gracillima* 〈EN〉

(10-4) オオアカバナ *Epilobium hirsutum* 〈EN〉

(10-5) ハイハマボツス *Samolus parviflorus* 〈EN〉

(10-6) サドヒゴタイ *Saussurea nakagawae* 〈EN〉

(10-7) シナミズニラ *Isoetes sinensis* 〈EN〉

(10-8) ヤマトミクリ *Sparganium fallax* 〈EN〉

(10-9) ヒメミクリ *Sparganium subglobosum* 〈VU〉

(10-10) ミクリ *Sparganium erectum* 〈VU〉

(10-11) タマミクリ *Sparganium glomeratum* 〈DD〉

(10-12) ナガエミクリ *Sparganium japonicum* 〈DD〉

(10-13) イトモ *Potamogeton berchtoldii* 〈VU〉

(10-14) コバノヒルムシロ *Potamogeton cristatus* 〈VU〉

(10-15) ミズアオイ *Monochoria korsakowii* 〈VU〉

(10-16) ユキクラヌカボ *Agrostis hideoi* 〈VU〉

(10-17) ヒメウズ *Semiaquilegia adoxoides* 〈VU〉

(10-18) センダイハギ *Thermopsis fabacea* 〈VU〉

(10-19) イワシモツケ *Spiraea nipponica* var. *nipponica* 〈VU〉

(10-20) ウミミドリ *Lysimachia maritima* var. *obtusifolia* 〈VU〉

(10-21) オオコメツツジ *Rhododendron tschonoskii* subsp. *trinerve* 〈VU〉

(10-22) イヌセンブリ *Swertia tosaensis* 〈VU〉

(10-23) スズサイコ *Vincetoxicum pycnostelma* 〈VU〉

(10-24) ハマベンケイソウ *Mertensia maritima* subsp. *asiatica* 〈VU〉

(10-25) ツルカコソウ *Ajuga shikotanensis* 〈VU〉

(10-26) イヌタヌキモ *Utricularia australis* 〈VU〉

(10-27) サドアザミ *Cirsium sadoense* 〈VU〉

(10-28) サドカニコウモリ *Parasenecio sadoensis* 〈VU〉

(10-29) ネコノシタ *Wollastonia dentata* 〈VU〉

(10-30) オニカナワラビ *Arachniodes chinensis* 〈VU〉

(10-31) ヤマトグサ *Theligonum japonicum* 〈LP〉

(10-32) ザゼンソウ *Symplocarpus renifolius* 〈NT〉

(10-33) ミズオオバコ *Ottelia alismoides* 〈NT〉

(10-34) ミスミソウ *Hepatica nobilis* var. *japonica* 〈NT〉

(10-35) マルバノサワトウガラシ *Deinostema adenocaulum* 〈NT〉

(10-36) イブキジャコウソウ *Thymus quinquecostatus* var. *ibukiensis* 〈NT〉

(10-37) ビロードシダ *Pyrrhosia linearifolia* 〈N T〉

(10-38) マメヅタ *Lemmaphyllum microphyllum* 〈N T〉

【コケ植物】

(11-1) イチヨウウキゴケ *Ricciocarpos natans* 〈N T〉